

枝光二区 5,000人の

ふくし活動プラン

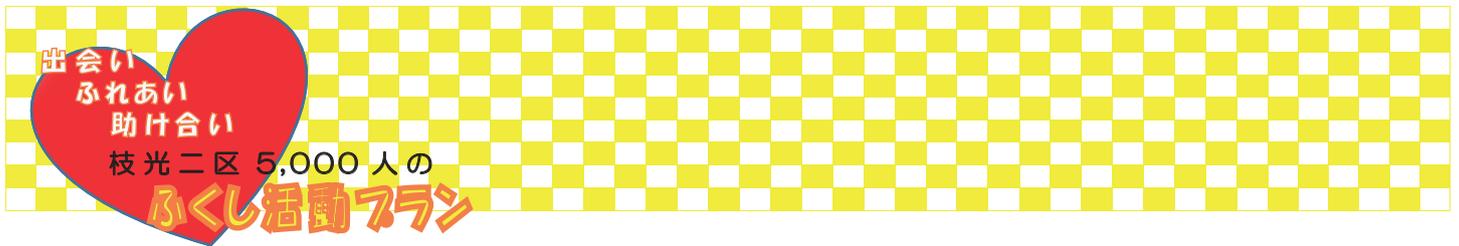
2018

~2022

出 会 い

ふれあい 助け合い

枝光第二地区社会福祉協議会  
小地域福祉活動計画



## 計画の策定にあたって

### 1 計画の性格

#### (1) 住民発信の行動計画

この計画は、枝光二区の様々な福祉課題を解決するために、地域の関係団体と地域住民が将来の見通しを持って計画的に活動するための行動計画です。

#### (2) 小地域を支える計画

この計画は、枝光二区に住む人たちが安心して暮らせる、支えあいを活動の原点とする計画です。

#### (3) 枝光二区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社協が地域福祉推進の中核的な団体として方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。計画推進にあたっては、枝光二区社協のみならず、関係団体による既存の活動とも連携し、福祉課題の解決に努めます。

#### (4) 北九州市、及び北九州市社協・八幡東区社協の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画

### 2 計画の期間

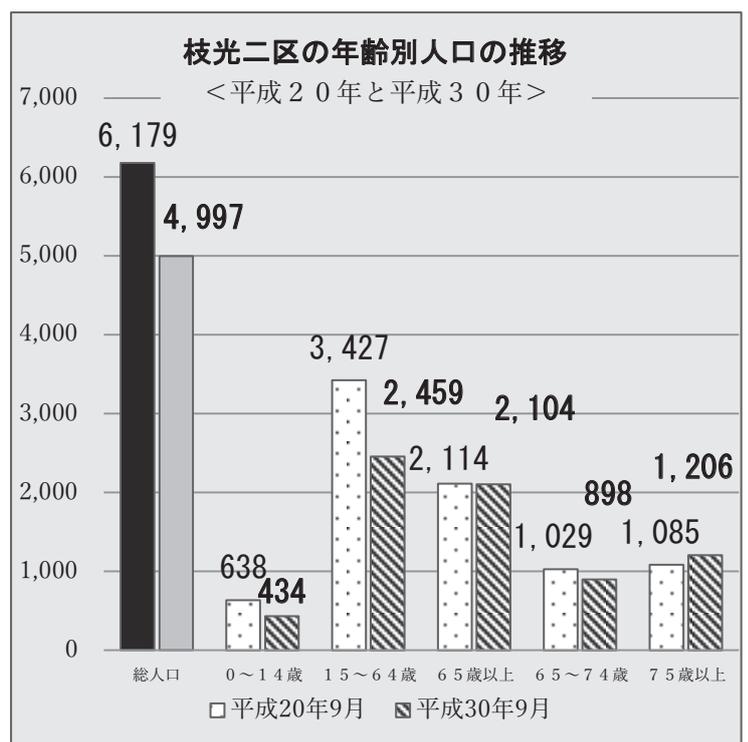
平成30（2018）年度から令和4（2022）年度まで

（必要があれば随時見直しを行います。）

## 枝光二区の現状と課題

### 1 地域社会の動向

- 山手の傾斜地に広がる住宅地で、元八幡製鉄所や関連企業の従業員・家族の人たちが多く住んでいます。
- ここ10年間で後期高齢者（75歳以上）が、増加しています。
- 車が通れない生活道路も多く、公共交通機関も限られています。
- そのため地域・民・官の協働で「おでかけ交通バス」を平成13年から運行しています。ただし利用者が減少していることが課題です。



## 2 地域の福祉課題

枝光二区は平成10年よりふれあいネットワーク活動を展開していますが、年々見守りの対象高齢者の増加と、見守り活動の中核となる自治会役員への負担が増加してきており、新たな福祉活動者の確保や育成が急務な状況となっています。

また、急速な高齢化のなか、近隣住民同士の気軽にふれあい交流する居場所もないなどの課題も顕在化しています。

これらの課題を解決するためには、関係機関、地域団体の自治会と民生委員と社協委員との連携の在り方を再度見直し、地域福祉の課題を共有し「自分たちのこと」とした意識を高め、強固な福祉基盤をつくり活動することが必要です。結果として地域住民に福祉活動に対して関心を持ってもらい、一緒に活動してくれる仲間を増やすよう推進していきます。



### 計画体系

## 1 基本理念 「出会い・ふれあい・助け合い」

枝光二区では、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で安心して心豊かに生活できるまちを目指し、「出会い・ふれあい・助け合い」の絆でつながる安心なまちの実現を基本理念として計画を進めていきます。

## 2 基本目標

### (1) 福祉の心を育てよう

福祉活動の広報啓発を通じて、地域の福祉の風土を広げます。また、地域団体単独の活動でなく、福祉の基本を学び、連携した活動を進めていきます。

### (2) 健康でふれあいの輪を広げよう

地域内で市民センターや空家の活用など交流場所の設置や既存の活動と連携して、住民相互のつながりを強めていきます。

### (3) みんな助け合い、安心して住めるまちをつくろう

安全で安心できるまちをつくるため、助け合いの仕組みづくりを作っていきます。

### 3 実施項目（体系図）

基本理念「出会い・ふれあい・助け合い」

基本目標 1  
『福祉の心を  
育てよう』

#### ♡ 広報啓発活動 ♡

- 地区社協広報紙
- 福祉啓発講座、認知症予防講座、健康塾講座
- 福祉の基本を学ぶ【重点実施項目】

基本目標 2  
『健康で、  
ふれあいの  
輪を広げよう』

#### ♡ ふれあい・居場所づくり ♡

- サロン活動【重点実施項目】
- ふれあい昼食交流会、敬老祝賀会、ふれあい訪問活動
- 餅つき大会、どんど焼き、バスハイク
- 児童・生徒との交流

#### ♡ 健康づくり ♡

- 健康づくり活動、ディスプレイ大会、五目お手玉大会
- ペタンク大会、花づくり活動

基本目標 3  
『みんなで助け合い  
安心して住める  
まちを作ろう』

#### ♡ 助け合い活動 ♡

- ふれあいネットワーク活動
- 助け合い活動【重点実施項目】

#### ♡ 安心な地域づくり ♡

- 防災活動、防犯パトロール活動
- 児童の見守り、交通指導活動
- 緊急連絡ネットワーク構築
- 清掃美化活動